



今
村
市
良
展

中
路
融
人
と
弟
子
の

令和5年 7.8^土 → 8.27^日

会期中の休館日 / 毎週月曜日(7/17は開館)、7月18日

入館料 / 大人 300円(250円) 小中学生 150円(100円)※()内は20名以上の団体料金

東近江市 近江商人博物館・中路融人記念館

師と弟子のものがたり 中路融人 × 今村市良 展



中路融人「薄日」



中路融人「晨 唐松林」

中路融人は、日本画家として精力的に作品を発表する傍ら、画塾晨鳥社では師の山口華楊の後を継いで(1997年)会長に就任、後進の育成に尽力しました。今村市良も、中路融人に教えを受けた日本画家の一人です。東近江市出身の今村は、高校を卒業後、掛軸の絵師として働き、中路融人が審査員を務めた「第1回てんびんの里を描く日本画コンクール」(主催・近江商人博物館/1996年)をきっかけに作家活動を開始。その後も同コンクールへの出品を通して中路と交流を重ね、2002年から中路に師事、以降毎月下絵やスケッチを携えて中路のもとを訪ねる日々が続きました。中路から作品制作のことから生活にいたるまで多くの助言を得た今村は、中路の没後、晨鳥社に所属しながら精力的に活動を続け、昨年度の第9回日展で「生生」が特選を受賞しました。

本展は、師の中路融人と弟子の今村市良の二人展です。二人の師弟関係の始まりの地であるここ東近江で、彼らの画業と築かれた関係性をひもときます。

関連事業

「今村市良氏ギャラリートーク」

7月22日(土)14時00分～15時00分

無料(要入館料) 申込み不要



今村市良「忘れられし物」※



今村市良「土用の頃」※

今村市良略歴

滋賀県東近江市小池町に生まれる。
てんびんの里を描く日本画コンクールで「蔵」が読売新聞社賞
中路融人に師事
第39回日展に「二人」が初入選
第45回日展に「忘れられし物」が初入選
晨鳥社入塾
日展会友となる
第9回日展で「生生」が特選

1952年	2002年
1996年	2004年
	2011年
	2018年
	2020年
	2022年

近江商人博物館で同時開催
東近江発、個別最適な学びは寺子屋から—往来物を手がかりに—
7月15日(土)～8月31日(木) びわこ学院大学共催

※ 作品画像提供:公益社団法人 日展



東近江市 近江商人博物館・中路融人記念館

〒529-1421 滋賀県東近江市五箇荘竜田町583番地 (てんびんの里文化学習センター内)
TEL 0748-48-7101 IP 050-5802-3134 FAX 0748-48-7105 URL <https://e-omi-muse.com/omishounin-boy.html>

- 開館時間／午前9時30分～午後5時 (入館は午後4時30分まで)
- 休館日／月曜日(祝日の場合は開館)・祝日の翌日・年末年始 臨時休館あり
- 入館料／大人300円(250円)小中学生150円(100円)※()内は20名以上の団体料金
- 交通機関／JR琵琶湖線 能登川駅から近江鉄道バス「八日市駅行」で「金堂」または「ふらざ三方よし前」下車徒歩約15分
- ・近江鉄道 五箇荘駅から徒歩約25分
- ・名神高速道路 八日市ICから車で約20分、蒲生SICから車で約25分、湖東三山SICから車で約25分、竜王ICから車で約30分、彦根ICから車で約40分

